

韓国<sup>キョンサン</sup>慶山市姉妹都市提携 20 周年記念

# 2011 年度 市民訪韓団

慶山市訪問記念文集

2011 年 9 月 28 日 ~ 10 月 2 日

JIEA

城陽市国際交流協会



## 目 次

参加者名簿・行程・地図	3
<small>キョンサン</small> 慶山市役所表敬訪問	5
慶山市立博物館	6
歓迎晩餐会	7
生活体育公園	8
水道事業所・ナツメ農家	9
スモモ生産法人・サブサル犬育種研究所	10
カッパウイ参拝	11
再会・慶山市を訪問して	12
<small>ハフエマウル</small> 河回村（世界遺産）①	13
<small>ピョンサンソウォン アンドン</small> 屏山書院・安東国際仮面劇フェスティバル	14
<small>ビョルジン</small> <small>ミンバフ</small> 別神グッ仮面劇・民泊に宿泊	15
<small>ハフエマウル</small> 河回村②～民泊の朝	16
<small>ホモサ</small> 梵魚寺・釜山女子大学	17
チャガルチ市場	18
訪韓団に参加して	19
文集の発行にあたって	22
報道資料	23



## 2011年度 市民訪韓団

### < 参加者 >

団 長：工藤 香代子（協会顧問）

参加者：赤澤 勇 赤澤 峯子 飯降 悦正  
 大野 道子 北川 啓子 田中 芳子  
 並川 和央 馬場 俊樹 馬場 寧子  
 三品 旭 宮谷 洋介 渡邊 郁代  
 渡辺 理一

引 率：大久保 雅由（協会事務局長）

馬場 牧子（協会職員）

〔合計 16名〕



慶山市生活体育後援にて

### < 行 程 >

2011年 9月28日 (水)	城陽市役所集合 関西国際空港 出発 ～ <sup>フサン キメ</sup> 釜山金海空港 到着 慶山市長表敬訪問 慶山市立博物館見学 歓迎晩餐会 宿泊：慶山市（OK モーター）
9月29日 (木)	慶山市内見学 生活体育公園・水道事業所 ナツメ農家・すもも農家 サブサル犬育種研究所 <sup>バルゴンサン</sup> 八公山登山、カッパウイ参拝 宿泊：慶山市（ <sup>サンデ</sup> 上大温泉ホテル）
9月30日 (金)	<sup>アンドン</sup> 安東市内観光 <sup>ハフェマウル</sup> 河回村・ <sup>ピョンサンソウォン</sup> 屏山書院 国際仮面劇フェスティバル 宿泊：安東市 （河回村カムナム〔柿の木の家〕）
10月1日 (土)	釜山市内観光 <sup>ホモサ</sup> 梵魚寺 釜山女子大学（韓国茶道博物館） チャガルチ市場 宿泊：釜山（コモドホテル）
10月2日 (日)	釜山金海空港出発 ～ 関西国際空港到着 城陽市役所解散



地 図

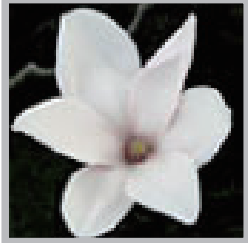
大韓民国



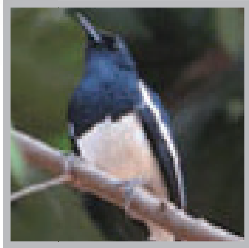
キョンサン 慶山市章



市の木 イチョウ



市の花 木蓮



市の鳥 カササギ



9月28日(水)

## いざ!! 韓国へ

朝8時30分に城陽市役所に集合、関西空港へ。KE732便にて午後12時50分に関西空港発、2時15分に釜山金海空港に到着。1時間25分、あっという間のフライトでした。金海空港ではキョンサン慶山市国際交流担当職員のチョンウダク全又根さん、キムギョホワン金圭煥さんと現地ガイドのイムヨンソン林英先さんが出迎えてくださいました。

## 慶山市役所を表敬訪問

空港から慶山市のバスで約1時間半で慶山市役所に到着、大勢の職員から拍手で歓迎を受けました。その後、市長代理のイテアム李大巖副市長を表敬訪問。国際交流を担当する経済通商本部のイサンイン李相仁本部長とチョウチャンホ曹讚鎬投資通商チーム長もご臨席のもと、歓迎式をしていただきました。



緊張の面持ちで開会を待つ

### 《参加者のコメント》

- バスを降りると多くの職員に拍手で迎えていただき嬉しかったです。
- 表敬訪問は初めての経験で緊張をしていましたが、出迎えて下さった方々のあたたかく親しみやすい雰囲気の中で、緊張がほぐれました。



副市長が握手で歓迎

- 大勢の職員の方に笑顔と拍手で迎えて頂き、ここに城陽市の姉妹都市があつてよかったなあと、感激いたしました。表敬訪問の事が地元の新聞に載ったと後で聞きましたが、名誉なことです。数名の職員の方に9/30朝に慶山市を離れるまで世話役を勤めて頂きましたが、すごく親切でした。

- 5時前の到着にもかかわらず玄関で大勢の出迎えに驚く。入館すれば左右のカウンター内の職員さんも立席、拍手で迎えられる。ここまで手厚く歓迎されたのは慶山市と姉妹提携された先駆者先輩の業績に大感謝です。



慶山市役所

## 慶山市立博物館

2007年2月に開館した、慶山市の歴史や芸術、民俗の伝統などにふれることができる博物館。

- 博物館はりっぱな建物で、資料も充実していて、歴史を大切にしておられる事を実感しました。また、市民の憩いの場所となっていると聞き、いいなと思いました。
- 博物館には短時間の見学ではあったが、昔の生活様式の展示品を見て、中国朝鮮を通じて日本に文化が伝わった様子がよく理解できた。
- 博物館と言うより資料館的に思えた等、なかなか大きな立派な建物であった。丘陵地を利用しているため、階段が多く最近の建物にはスロープがない福祉にかけた感じです。国の特徴か行政本位で進んでいる感があった。



学芸員の説明を聞く



「三聖賢」の銅像の前で

- 城陽市と同じように古代の歴史が古墳などでしのばれる慶山市。各時代の史料がバランスよく展示公開されていて歴史の流れの“見える化”がはかられていた。立派な市立博物館だった。



慶山市の祭「慈仁端午祭」



昔の暮らしを再現した展示

### 「三聖賢」

～慶山市で生まれた“民族の師匠”と言われる3人の人物～

ウンヒョン

元暁：新羅時代の高僧。韓国仏教史上、最も偉大な高僧の一人として尊敬されている。

ソルチョン

薛聡：元暁大師の息子で、新羅十賢の一人として、主に王の諮問役を務めた。

イルヨン

一然：高麗後期の高僧。韓国古代神話や説話、郷歌を集大成した「三国遺事」を著述した。



## 歓迎晩餐会

慶山市の職員の皆さんに盛大な晩餐会を開いていただきました。豪華な韓定食と慶山産のブドウで作ったワインを囲んで友好を深めました。

- 歓迎晩餐会ではたべきれない程のごちそうがでてきて、すごいおもてなしを受けました。また、以前に城陽市役所に来られていた方や中学生の引率で城陽市に来られた方々も出席されて、とても楽しいひとときでした。



慶山市の職員と楽しい一時



慶山産のワインで乾杯!!!

- 李さん（\*）にも会えて、急に親近感が湧いた。（\*職員交換事業で2009年11月～2010年4月まで城陽市に勤務された李相昊さん）
- 晩餐会では、市・部長以下7～8名もの方で接待を受け、和やかに韓国料理を楽しんだ。慶山市の歩みやこれからの方向、計画等詳しく聞くことが出来、こちらの思いも伝えることが出来て大変有意義であった。

- 食事会の懇談の中で、韓国では坂本龍馬のドラマが特に人気があること、薩長同盟が土佐と長州とされている方もあって、薩摩は鹿児島であると説明しておいた。韓国では宝くじを買う時にご先祖さまか有名人、豚か猪、又滝に打たれる夢を見ると宝くじに当たると言い伝えがあるそうです。

晩餐会に参加された  
慶山市のみなさん

経済通商本部

本部長 李相仁さん

投資通商チーム長 曹贊鎬さん

投資誘致係長 徐權洙さん

国際協力係長 全又根さん

国際交流係 郭美良さん、趙成玟さん、  
金圭煥さん

国際交流親善大使（元城陽市交換職員）

徐漢植さん、李相昊さん

- ※ 2012年3月に経済通商本部は経済通商局、投資通商チームは投資通商課になりました。



美味しい料理と楽しい会話で笑顔がいっぱい



## おやすみなさい…

初日の宿は市役所近くのOKモーテル。きらびやかなネオンにちょっとドキドキ…。

- テレビのつけ方、バスの使い方など解らなくて一人淋しい旅のスタートでした。



薬膳料理に使われる漢方



9月29日(木)

2日目は朝から雨でしたが、慶山市内の公共施設見学や八公山登山などを行ないました。

## 生活体育公園

2009年に慶尚北道の体育大会開催にあわせて整備されたこの施設には7,000人収容のサッカー兼陸上競技場、5,000席の体育館、ラグビー場、テニスコート7面、インラインローラースケート場、フットサル場、バスケットボール場、セパタクロー(蹴球)場などがあります。2011年夏に開催された世界陸上大邱大会ではジャマイカのウサイン・ボルト選手がこの競技場で練習したそうです。

- 生活体育公園での説明で市民からの要望で、障害のある人達のためのスポーツ施設や野球場もこれから建設する予定だと聞きました。また、高齢者や仕事のない人達に、機会のあるごとに労働の場を提供するなど、市民を大切にされていると感じました。



陸上競技場にて

- 敷地面積36375㎡の膨大な土地にあらゆる運動施設が作られていた。来年(2012年)からプールの建設が始まるそうだ。この施設の管理体制を質問してみたところ、職員14名が管理、後は各事業ごとに市の市民雇用体制が短期雇用で補うそうであった。年が経過するにつき建物施設の管理経費大変のように感じました。



バドミントンを楽しむ慶山市の人々



お洒落な散歩道



体育館を見学



朝食は牡蠣雑炊(クルクッパ)



気分はボルト選手?!



## 水道事業所

慶山市民に生活用水を届ける浄水場を見学しました。

- 広大な土地に各施設があり見学コースも整備され、市内の川からの水が各部施設で浄化され慶山市民が利用している。それにしても水は少し苦い?? 通訳に聞くと自分達もミネラルウォーターを飲むと言っている。不思議です。



かわいいゆるキャラがお出迎え



太陽光発電施設



水について学べる展示室



浄水施設を見学



中央オペレーション・ルーム

## ナツメ農家

自然に恵まれた慶山市で生産される農産物は韓国でも有名なブランドです。桃、ナツメ、ブドウ、スモモ、ゴマの葉などが栽培されており、特にナツメは全国の生産量の27%を誇る特産品です。



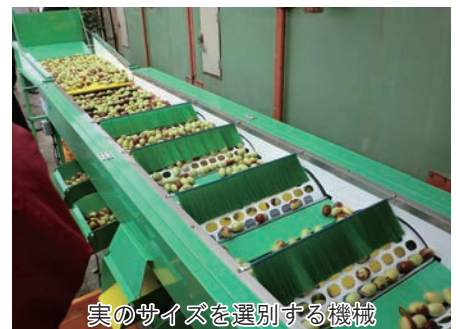
- 慶山市郊外は田んぼ、山手は果樹園と広い土地、造作している。訪れた農園は、新幹線の通る橋脚の下に広がる土地にあった。ここでも2年程前から行政の資金援助で少しずつ機械化やビニールハウスでの栽培法が取り入れられていた。



農家の方の説明を聞く



木を揺らして実を落とす機械



実のサイズを選別する機械



## スモモ生産法人

スモモもナツメと並ぶは慶山市の特産物で、その90%がこの法人で生産されています。



おいしいスモモ、ごちそうさまでした！



慶山市特産のスモモ



試食中

## サブサル犬育種研究所

サブサル犬は韓国固有の犬で天然記念物に指定されています。中型で長い毛皮が特徴のサブサル犬は頭が賢くて敏捷性と瞬発力が良く、忍耐力と忠誠心が強くて勇敢です。様々な技でその能力を披露してくれました。



サブサル犬のぬいぐるみ



思わず笑顔がこぼれます



素晴らしい技を見せてくれたサブサル犬と一緒に



ジャンプ！！





## カッパウイ参拝

慶山市の北側に位置する八公山パルゴンサンの南峰頂にある新羅時代に造られた仏像「カッパウイ」に参拝しました。カッパウイとは直訳すると「笠岩仏」であり、その名の通り頭には笠模様に作った平べったい岩が載っています。心から願うと一つだけ願い事が叶うといわれ、全国から人々が参拝に訪れます。

この日は時折雨が降り、山頂では大変霧が濃く石仏も霞むほどで、景色も楽しめずに残念でした。

- 小雨の中がんばって登りました。景色は何も見えず残念でしたが、仏様のお顔を見ていると心が安らぎました。ろうそくをお供えて、たくさんあるお願い事の中から1つを選んでお願いをしました。山を降りてから足の痛みは日本に帰るまで続きました。
- ものすごい登り坂。時折降る小雨の中を何度も挫けそうになりながら登り切りましたが、その時は息も荒れ、足もガタガタの状態でした。それだけにカッパウイの姿がありがたく思えました。心から願うと一つだけそれを聞いてくださるとのことですが、その願い事は内緒にしておきます。
- 八公山は登山の山というよりは佛と出会う所。雨と霧にむせぶ八公山での佛との出会いに山中は他界であることをささやかに実感した。一人で五体投地したかったけど、恥ずかしかった。次には思い切ってやってみる。そう自らに約束した佛との出会い。



晴れていたらこんな景色が見えるはずでした…。



## 再 会

慶山市での2泊目は上大温泉ホテル。<sup>サンデ</sup>登山の後の温泉は格別でした。

このホテルでは懐かしい人たちとの再会もありました。姉妹都市職員交流に参加されたことのある徐漢植<sup>ソハンシツク</sup>さん、李相昊<sup>イサンホ</sup>さんが会いに来てくれたのです。徐さんは1999年度、李さんは2009年度にそれぞれ半年間城陽市役所に勤務し、城陽市民との親交を深められました。国際交流協会ではお二人を帰国時に「国際交流親善大使」に任命し、両市の友好親善の促進に努めていただいています。

- 人事交流で城陽市にいられていた李さんが妻子を連れて遊びに来られ、楽しいひとときを過ごせました。彼には一度我が家に来ていただいたこともあるのですが、親しみの持てる人だと思います。



徐漢植さんを囲んで



李相昊さんとご家族と一緒に

## 慶山市を訪問して

- 初日の博物館、2日目見学した生活体育公園、水道事業所等が2000年以降に大型設備投資によって立派な施設が建造されているが、市の財政、税収の構成はどうなっているのか具体的に知りたいと思ったが、時間の制限もあり掘り下げた意見交換ができなかったのは残念。
- バスガイドの車中での説明によると韓国では結婚年齢も男子が30才、女子が29歳と高く、しかも結婚していない人も多く、生産人口も日本よりも少ないとのこと。将来の人口構成は日本以上に超高齢化社会が到来するのではないかと。私たちの目に映る街の様子は商品があふれ高層マンションが建設されて活況に映るが、考えようによっては日本の10年、20年前の姿に似ているような気がする。
- 現在発展中であることを感じました。それだけ姉妹盟約を大事に育てていく必要があると思いました。
- 数名の職員の方に9月30日の朝に慶山市を離れるまで世話役を務めていただきましたが、すごく親切でした。



お世話になった慶山市職員の皆さんと  
(上大温泉ホテルにて)